

日本原子力学会核燃料部会 第30回核燃料部会総会議事録(案)

日時：平成20年3月27日(木) 12:00～12:20
場所：大阪大学工学部 U2棟 U2-214
出席者：約20名

1. 活動報告

庶務担当から活動報告を行った。質問、コメントはなく、承認された。

- (1) 総会：平成20年3月27日(木) 大阪大学
- (2) 運営委員会：
 - 平成19年度第1回 平成19年5月14日(月)
 - 平成19年度第2回 平成19年7月20日(金)
 - 平成19年度第3回 平成19年9月28日(金)
 - 平成19年度第4回 平成19年12月4日(火)
 - 平成19年度第5回 平成20年3月27日(木)
- (3) 部会企画セッションプログラム
 - a. 平成19年9月28日 13:00～14:30 (秋の大会 於：西日本総合展示場)

「計算科学と加速器照射は実機燃料照射試験の壁を超えられるか？」

 座長(東大)山脇道夫
 - (1) 計算科学と加速器による燃料挙動再現の現状 (UO₂+xの結晶科学、高燃焼度燃料細粒化)(電中研)木下 幹康
 - (2) MOX・TRU燃料に関する計算科学研究の現状(東北大)小無 健司
 - (3) MOX・TRU燃料に関する照射ホットラボ試験の現状(JAEA)逢坂 正彦
 - b. 平成20年3月27日 13:00～17:40 (春の年会 於：大阪大学)
 (核融合工学部会, 核燃料部会, 材料部会合同)
 核分裂炉、核融合炉燃料材料に関する日韓セミナー
 「産官学共同の標準開発構想について」
 座長 各部会より1名ずつ
 - (1) Present status of nuclear fusion development
 - (2) Material studies for advanced nuclear energy systems
 - (3) Present status of fuel research for advanced nuclear energy systems
- (4) 第22回 核燃料夏期セミナー

平成19年7月19日(木)～21日(土)

於、長野県信州・大町温泉郷「黒部観光ホテル」
- (5) 研究専門委員会

『核燃料技術基盤の高度化』研究専門委員会

[主査](JAEA)石島清見殿

[設置期間] 平成17年6月1日～平成21年3月31日

『先進的原子力システムにおける燃料・材料』研究専門委員会

[主査](東海大)山脇道夫殿

[設置期間] 平成18年4月1日～平成22年3月31日

2. 平成19年度決算及び平成20年度予算 —— 添付資料参照

庶務担当から添付資料を参照し活動報告を行った。
平成20年度予算のうち、夏期セミナー収入については、直前の運営委員会での意見により、0円とすることを口頭修正した。

3. 副部会長の交代(平成19年度第3回運営委員会承認事項)

新副部長：安部田 貞昭 (H19.10.1付)

4. 運営委員

- (1) 平成19年度の運営委員交代
 - (関西電力)藤田 元久 → (関西電力)高島 勇人(H19.6.28付)
 - (中部電力)野田 宏 → (中部電力)原田 健一(H19.7.1付)
 - (日本原電)藤田 千俊 → (日本原電)松浦 豊(H19.7.1付)
 - (原燃工)来山 正昭 → (原燃工)大平 幸一(H19.12.4付)
- (2) 平成19年度業務担当

担当		平成19年度担当者
広報		[東大] 寺井委員
部会報		[関西電力] 高島委員
国際活動		山本副部会長→安部田副部会長、 [電中研] 木下委員、[JAEA] 更田委員
国内企画 (横断活動、年会時企画)		[東北大] 塩川委員、[NDC] 和田委員
庶務幹事(財務含む)		[四国電力] 今村委員
夏期セミナー幹事		[九大] 杉崎委員、[NFI] 来山委員
部会代表	部会等運営委員	山本副部会長→安部田副部会長
	評議員	岩田部会長、山本副部会長→安部田副部会長

5. 平成20年度の活動計画

庶務担当から平成20年度の活動計画を説明した。

質問、コメントはなく、承認された。

- (1) 第23回夏期セミナー：

平成20年7月17日(木)～19日(土)開催。ことひら温泉(香川県)。

- (2)会報:
 第44-1号(平成20年9月頃発行予定)
 第44-2号(平成21年1月頃発行予定)
 (3)講演会:未定
 (4)国際会議:
 WRFPM2008(平成20年10月19日~22日、於:ソウル)
 (5)総会:
 平成20年秋の大会時(平成20年9月4日~6日)
 平成21年春の年会時(平成21年3月23日~25日)
 (6)運営委員会:年度内に5回程度開催予定

6. その他

部会長より、平成20年度予算に計上しているテキスト作成等の趣旨について説明があった。
 ・戦後の日本を考えると、モノを輸出することは成果をあげたが、知識を輸出することについてはどうだったか疑問。グローバルスタンダードとなる知識の発信を、マルチリンガルでやるきっかけとしたい。部会が始まったときの原点に戻って積極的にやっていたらと思う。
 ・部会員の年齢構成スペクトルに鑑みると、20代の人をどこまで強力に引きつけられ、鼓舞できるか、努力が必要。学術的なポテンシャルも考えていければ良い。
 ・楽しく、行きたくなる部会に変えていければと思う。

以上

添付資料

平成19年度予算収支予想および平成20年度予算案

(単位:円)

		平成19年度予算・実績予想			平成20年度予算案	
		予算	実績予想	備考	予算	備考
収入	部会配付金	273,000	273,000	学会連絡	269,000	学会連絡
	論文集売上、掲載料	0	0		0	
	発送料		500			
	セミナーテキスト売上	0	10,000		0	
	セミナー残金	83,000	48,522	H19年度夏期セミナー	50,000	H20年度夏期セミナー
	寄付金・賛助金	0	4,000	セミナー外国人講師源泉所得税 収付金(納税不要)	0	
	合計	356,000	336,022	予実差 ▲19,978	319,000	→269,000
支出	会議費	0	0		0	
	通信費、発送費	67,000	67,000	会報発行回数は2回/年。夏版は電子ファイルで配送。	67,000	会報発行回数は2回/年。夏版は電子ファイルで配送。
	消耗品費	0	1,260		0	
	印刷費	140,000	176,000	会報印刷費	140,000	会報印刷費
	講師謝礼、旅費	90,000	90,000	講師への謝金と旅費	62,000	講師への謝金と旅費
	委員旅費	0	0		0	
	管理費配戻額	77,000	77,000	学会連絡	73,000	学会連絡
	国際会議等支払助成金	0	50,000	日韓合同夏の学校	0	
	補助金支出(事)	0	4,000	寄付金収入事務処理	0	
	セミナー補助金	0	0		0	
	その他					
	テキスト作成管理	0	0		100,000	核燃料テキスト作成管理
	HP管理	40,000	100,000	HP管理	80,000	HP管理
合計	414,000	565,260	予実差 151,260	522,000		
年度収支差額	▲58,000	▲229,238	予実差 ▲171,238	▲203,000	→▲253,000	
年度末繰越金	1,218,888	1,047,650	予実差 ▲171,238	844,650	→794,650	

以上

過去の総会議事録の一覧はこちらです。

[過去の総会議事録一覧](#)

[もどる](#)